



(田代町2区)

# ターだより

No.2

## 老人いこいの家

### 「清和荘」を訪ねて

#### 設備いろいろ「清和荘」

老人いこいの家「清和荘」ってご存じでしょうか。高齢者にいこいと研修の場を提供し、安らぎと教養の向上に寄与するとともに心身の健康の増進を図る目的で大館市が昭和五十四年十二月に建設しました。現在、デイサービスは各専門施設で行われているため、高齢者の余暇活動の援助・促進が目的となっています。釈迦内地区の獅子ヶ森にあり「郷土博物館」のすぐ近くです。木造一部鉄筋コンクリートの平屋建て、ステージ付きの大広間(三十四畳)、和室(八畳四室、四・五畳一室)、作業所、浴室(男女)、厨房、事務室、それに広い廊下と縁側もある立派なものです。



管理運営は市から大館市老人クラブ連合会(市老連)へ委託されています。そのため市老連事務局もおかれていて、事務局長の伊藤さんと、事務の畠山さんが常駐しています。ちなみに、市の六十歳以上の人口は二万四千五百人で、うち市老連に加入している人は、七千四百四十一人とのことです。



この清和荘は、だれでも利用することができます。そのため、いろいろなグループが定期的に利用しています。たとえば、陶芸、カラオケ、囲碁、麻雀、舞踊、茶道などです。そのほかに不定期で、近所の町内会や、各種行事の慰労会などの使用もあり、年間五千人を超える人が利用しています。また、浴室の利用もでき、年間利用者は千人ぐらいです。浴室を利用する場合は五人以上の希望が必要で、事前の連絡が必要とのことです。

#### 豊かな老後生活のために



だれでも健康で豊かな生活を望んでいます。特に、定年を過ぎた年代の人たちは、現役時の職務から解放され、マイペースで生きがいを求めています。そのためにいろいろな時と所と機会を探しています。私的な施設・場所もあるけれども、最も一般的な所は公民館でしょう。そこでは老若男女世代を超えて多くの人がサークル活動などで利用しているようです。しかし、本当に老人がゆつくりとした時を過ごせる場所は、この清和荘ではないでしょうか。伊藤さんの話では、県内ではこのような施設はほとんどなく、大部分がリハビリとかデイサービスに使用されているそうです。その意味でもここは貴重な場所なのです。

この施設を利用するには、健康で、介助を受けずに楽しむことができますなければなりません。そこが養護施設とは違います。日ごろから心身を鍛えて利用できるように

したいものです。

#### ぜひ多くの利用を

最後に伊藤さんと話した中からいくつか拾ってお伝えします。何よりも多くのかたに利用していただきたいとのことでした。場所は釈迦内地区ですが、十二所地区や二井田地区など遠くのかたも一度行ってみてはいかがでしょう。バスは一時間に一度だけですが、時間配分を工夫すれば、遠方からおいでのかたも充分利用できるのではないかとのことです。

お客さんの中には、樹海ドーム見学↓郷土博物館見学↓清和荘で休憩するかたもいるそうです。カラオケは千三百曲もありますし、思いっきり日ごろの気晴らしをしてみるのもいいのではないのでしょうか。秋田県の老人の自殺率が全国一という記事を見たことがありますが、明るく元気な老年を送るためにもぜひ一度足を運んでみてください。

#### 老人いこいの家「清和荘」案内

釈迦内字獅子ヶ森1-1の内  
☎48-4412

開館日・時間

日曜、祝日、年末年始以外は毎日、午前九時から午後五時まで。

利用方法

電話または用紙に記入して申し込みます。

使用料・無料です。